

(工) 課題番号 4

課題分野： I	課題名：「御所の柿のブランド化と柿葉生産拡大」	
対象： ①② JAならけん葛城支店柿部会	計画期間：H27～29	
	農林振興事務所名：中部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果
① 柿のブランド化による有利販売 ② 柿葉生産の啓発と経営評価	① 御所柿の接ぎ木講習会開催、種子繁殖による苗木育成支援、はく皮技術導入の効果検証、御所柿の流通・販売実態調査、ブランド認証に対する意識調査 ② 柿葉新規生産者への栽培指導、経営評価実施	① 現場でのではなく皮処理による御所柿への効果は小さかった。栽培本数は目標には達しなかったものの増加。流通・販売実態調査により、実需者ニーズの把握ができた。 ② 柿葉生産者が1名増加し、生産面積拡大。

総合評価（コメント）
<p>A：5名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本県のブランド化の重要な取り組みと考えるので、6次産業化や品質向上に取り組み、地域全体の知名度向上に繋がるよう頑張ってもらいたい。</li> <li>■ 後継者対策や産地の維持を考える上で、今回の取り組みは評価できる。</li> <li>■ 御所柿には他の品種にはないストーリー性があり、地域の特産品としてPRして欲しい。</li> <li>■ レベルの高い目標のため、達成には困難が予想されるが、今後とも続けて欲しい。</li> </ul> <p>B：1名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 御所柿のGI登録を目指し、ブランド化を目指して欲しい。柿の新規就農者確保への取り組みも実施して欲しい。</li> </ul>

普及指導計画への反映状況等
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ GI制度については、有利販売にむけた1つの手段として今後検討していきたい。6次産業化についても現在検討中。</li> <li>■ 新規就農者確保については、重要な課題であると認識しており、御所市柿産地構造改革計画の改定を行う中で、今後具体的な方策について、生産者、JAなど関係機関を交えて、産地全体として考えていきたい。</li> </ul>